

## 学校支援ボランティアの迎え入れ体制②



### 先生のための5か条

#### 第1条 学校支援ボランティアとのパートナーシップを築きましょう

学校支援ボランティアは、「部外者」と思われるのが嫌です。少しずつでいいですから、一緒に活動をする「関係者」としてお客様扱いしないようにしてください。そして、共に子どもを育てる責任を持った関係者として、対等な立場で、よりよいパートナーシップを築きましょう。

#### 第2条 笑顔で明るいあいさつをしましょう

学校支援ボランティアにとって、職員室は気軽に出入りできる場所ではありません。そして、先生たちの視線がとても冷たく感じる場合があります。そんな時、笑顔で明るいあいさつで声をかけられると心がほぐれるのです。学校支援ボランティアからもあいさつをします。先生たちもあいさつをして心と心をつなぎましょう。

#### 第3条 活動に対するアドバイスをしましょう

学校支援ボランティアは、活動をしながら自分自身も学び、向上したいと考えています。ですから活動後には、今後に生かせるようなアドバイスや感想を聞きたいと思っています。求めに応じて、活動の中でよかったことや気づいたこと、工夫して欲しいことなどを伝えましょう。

#### 第4条 コミュニケーションの場を持ちましょう

学校支援ボランティアとのコミュニケーションの場をつくり、時には一緒にお茶を飲んだりしながら、たくさん話をしましょう。お互いの思いが伝わり、スムーズな活動につながります。また、信頼感が生まれることで、活動にも広がりや深まりができます。

#### 第5条 子どもと一緒にボランティアから学ぶ体験をしてみましょう

学校支援ボランティアは、多くの知識や体験を持っています。時には先生たちも、子どもと一緒にボランティアから学ぶ体験をしてみましょう。きっと、何かを学ぶことができると思います。ボランティアも先生や子どもと一緒に学んでいます。